

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2170400598		
法人名	株式会社 エステートホーム		
事業所名	サロン・ド・フレール羽島		
所在地	岐阜県羽島市竹鼻町丸の内9-53		
自己評価作成日	平成23年6月21日	評価結果市町村受理日	平成23年8月23日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai gokouhyou.jp/kai gosip/infomationPublic.do?JCD=2170400598&SCD=320&PCD=21
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人 ぎふ住民福祉研究会		
所在地	〒503-0864 岐阜県大垣市南瀬町5丁目22-1 モナーク安井307		
訪問調査日	平成23年7月15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

個々のニーズに合わせた個別ケアに力を入れている。
常に自己決定できるような環境作りにも努めているところ。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

サロン・ド・フレール羽島は羽島市の中心部に位置し、図書館や文化センター・市民の森・ドラッグストア・百円ショップ・スーパーなどが点在する便利な周辺環境の中にある。ホーム内には笑い声が絶えず、生き生きと笑顔で働く職員の姿が印象的である。ひとりの小さな気づきが職員全体に共有され、より良いケアへの工夫となり、本社・管理者・職員が一体になって理念の「響きあい」のケアを実践している。アセスメントや介護計画、プラン実施状況の記録は日々のケアにつながるような独自の優れた工夫があり、活用しやすいものとなっている。地域とのコミュニケーションを積極的に図っており、夏祭りに来てもらったり、地域に出掛けて行ったり、地域住民がボランティアに来てくれたりなど、常日頃の触れ合いがある。災害対策にも力を入れており、ホーム内の家具の固定、ヘッドランプなどの装備、転倒防止テープなどをするとともに、消防署指導の訓練も含め、年4回の防災訓練を実施している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ユニット会議で理念について話し合い、再検討する場を設けるなどして意識を高めている。 職員は理念に沿ったケアに努めている。	理念は開設時に職員で話し合い作られており、職員は毎日申し送りの際、各自のケアを理念に立ち返り共有しあっている。成功事例を会議にあげ、ホーム全体に広げ、管理者・職員全員で響きあうケアの実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に参加したり、買い物や散歩など、外出の際に交流している。 自治会に入会している。	自治会に参加するなど地域とのつながりに積極的である。ホームの夏祭りには住民の参加があり、左義長などの地域行事にホームから出掛けて交流を重ねている。買い物時には声をかけてもらったり、地域の人がボランティアに来てくれたり等良好な関係を築いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	直接来訪や電話など、介護相談への対応、外出時に認知症の方への理解を働きかけている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に意見交換を行い、サービスの向上に活かしている。 消防訓練への参加もある。	2ヶ月の一度の運営推進会議には、ボランティア・職員・市職員・民生委員・家族・入居者など多数の参加があり、地域の様子を知り、ホームの様子を伝える良い場になっている。災害時の備蓄の意見が取り入れられるなど、そこでの意見が運営に生かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	管理者、エリアマネージャーが連絡をとり、協力関係を築くよう努めている。	市の職員の訪問の際は、ホームの現状や取り組みを具体的に伝えている。日常的に電話でのやり取りを行ない、行政と密な関係を保っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議の時などに研修を行い、身体拘束をしないケアに努めている。現在、身体拘束を行っている利用者はいない。 法令なども学んでいる。	身体拘束や虐待防止については、研修を行い、何が拘束にあたるか職員全体で共有している。外に出たい利用者がある時は、気にならない音のセンサーでキャッチし、さり気なく後を付いて行くなどしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議の時などに研修を行い、虐待防止関連法を学んでいる。 現場では、職員同士注意している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	会議の時に研修し学んでいる。研修後のレポート提出もやっている。 現在成年後見制度を利用している方もみえる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に、利用者・家族に十分な説明を行い、その上で契約している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や苦情窓口を設けている。 (ポスターの掲示あり) 面会時に直接意見を伺うなどしている。	家族の面会時等に要望を尋ねたり、電話での報告の際に思いや意見を聞き、コミュニケーションを取っている。今年度から2ヶ月に一度利用者の写真や様子を手紙で伝える取り組みを始めた。玄関に意見箱や苦情申し立て窓口の掲示がある。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全職員へのヒアリングを行ったり、日々の業務の中でも意見を聞いたり、提案や悩みなどを聞いている。	会議では積極的な意見交換がされ、サービス向上につながっている。また、管理者は職員とのコミュニケーションを積極的に取っており、本社からは職員に対する定期的なヒアリングがある。出された意見に対しては回答がなされ、職員の意見や提案が運営に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ヒアリングや日々の会話などから努力や実績を把握するよう努めている。 資格取得にも配慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外の研修を行っている。 また、会議などで行った研修にはレポート提出がある。 本社では各委員会があり、運営を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社会福祉協議会やグループホーム支部会などにホームの代表として交流に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に面談を行い、本人や家族から情報収集して状況把握に努め、信頼関係が築けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前の面談にて困っていること、不安なことを伺い、希望に添えるよう情報収集に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前の面談で得た情報から、必要としている支援を専門職と話し合っ見極めている。課題などもふまえて協議を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で、利用者と一緒に家事をするなど、共に喜びや楽しみを感じられるよう、一人ひとりに合った支援をしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や電話などで日々の状態を家族に伝え、共に本人を支えていくよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の行事に参加したり、馴染みの方が来やすい環境づくりに努めている。	兄弟や友人などの訪問の際は、おやつやお茶の接待で歓迎している。また、竹鼻祭りに行ったり、入居前に行っていた神社の初詣や自宅の周りを回ってきたりなど、利用者の馴染みの関係が途切れない支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係に配慮し、話しやすい席に配置するなど、環境づくりに努め、ときには職員を交えて話せるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も相談ができるよう努めている。 外部で会ったときには挨拶している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のケアの中から希望や意向の把握に努めている。家族から希望を伺うこともある。	毎日の関わりの中から、希望や意向の把握をしている。言葉による表出の出来ない人には、TVの子供番組を見て表情が変わる様子など、細かな変化を職員がキャッチし、カンファレンスを行い、希望に沿えるケアに繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報や本人との会話から、これまでどんなサービスを利用してきたかの把握に努めている。 今までの生活環境をできるだけ取り入れた生活に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前の情報やアセスメントから全職員が情報の共有に努め、一人ひとりの状態に合わせて対応している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	会議、モニタリングで話し合い、よりよい支援のためにそれぞれの意見やアイデアを取り入れ、本人の意向をふまえた介護計画の作成に努めている。	より良い日常生活を送るには何が一番必要かをチームで考え、介護計画を作成している。短期目標は身近な言葉で記入し、スタッフ全員が毎日モニタリングを行い、共有している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や申し送り、会議などで全職員が情報を共有し、現場で実践できるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況をふまえ、必要に応じて支援している。 葬儀への送迎も行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の意向も取り入れ、買い物や公園などへ出かけられるよう支援している。 希望により美容院へも行って		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前に利用者の意向を聞き、利用者が受診を希望する医療機関(かかりつけ医等)での診療が受けられるように努めている。	希望により、入居前の主治医をかかりつけ医とすることが出来る。現在はホームの協力医が2週間に一度往診に来ているため、本人・家族の納得のもと、協力医がかかりつけ医となっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションとの連携により、24時間のオンコール体制を確保している。 連携する訪問看護ステーションの看護師により、日常的な健康管理やアドバイスをいただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はこまめに面会へ行くようにしている。 また、家族との情報共有に努めている。 退院時も医療機関・家族と連携し、対応している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医師や家族と相談しながら、個々のニーズに対し、その都度話し合い、連携している。	医療行為を伴う対応や看取りに関しての指針を、契約時に本人・家族に説明し同意を得ている。さらに、重度化した時には家族に再度確認を取り、医師と相談しながら、その後の対応について話し合い、方針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルに応じて対応している。 会議での確認やマニュアルの掲示をしている。 研修で専門職の意見も取り入れている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な消防訓練の実施。 全職員が災害時に対応できるよう日々努めている。 災害時に必要な物品の確保。 運営推進会議などで話し合っている。	日頃から消防署や地域住民との協力関係が出来ており、年に4回の避難訓練を行っている。利用者参加のもと、夜間を想定しての訓練も行っている。運営推進会議の意見から、3日分の備蓄を用意している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の利用者を理解した上で配慮し声かけを行っている	一人ひとりの尊厳を大切にし、施設理念の「自由に、ありのままに、自分らしく」を全職員で実践している。職員は利用者に対し、さりげない接し方を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で、個々に合わせて対応している。 自己決定しやすい働きかけや選択方法を行っている。写真、絵や二択から選んでいた。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースに合わせて対応している。 希望に沿えるよう努めている。 時には業務の調整を行い対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1階の床屋の来所。 希望により美容院へ行く方もみえる。 朝の整髪やモーニングケアを行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	リクエストメニューや季節を感じていただける好みのものを取り入れている。また、個別の夕食の提案を実施。 目の前で調理の実施に努めている。	献立は職員が考えているが、一人ひとりの希望に沿った好みのものを取り入れている。下ごしらえや盛り付け等、利用者が意欲的に取り組めるような工夫をしている。せかすことなくゆったりとした、和やかな食事を楽しめる雰囲気づくりをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日分の栄養摂取を考えながら、献立を作成する。水分量の記録やきざみ、ペーストなど個々に合わせた食事形態を支援している。 見た目や盛り付けにも配慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々の状態に応じてブラッシング方法や口腔内拭きとり等を行っている。 歯科の往診もあり、アドバイスを受けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、個々の排泄パターンの把握し、できる限りトイレで排泄できるよう努めている。 さりげない声かけ。 席を立たれたときに促す。	夜間、オムツを使用している人にも、昼間は出来る限り、リハビリパンツや布パンツを使用してもらっている。排泄のパターンを把握して、さりげなくトイレ誘導の声かけを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ご飯に寒天や麦を入れたり水分補給、運動に努めている。場合によっては主治医と相談し、薬の調整をしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々の希望やその状況に合わせて入浴を行っている。拒否のある方は無理せず中止し、希望時に対応している。	ひのきの香りのする個浴で、順番・湯温など入居者の希望に沿った支援をしている。毎日、入浴の用意がしてあるので、拒否のある方にも無理強いをせず、希望を聞きながら対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々に合わせて対応している。 室温、布団などの環境面に配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	現場に処方せんの設置、処方変更があった場合には申し送り伝えている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のケアの中から、個々の役割、楽しみを発見し、その人に合った支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候にもよるが、希望に応じての外出、家族と一緒に出かけられるように心がけている。	馴染みのスーパーでの買物、喫茶店や公園への散歩など、日常的に外出支援を行っている。地域行事・美容院・病院などへの同行支援も行っている。今年度は家族とのふれあいを目標にし、利用者・家族・職員での外食を計画している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設にて財布を預かっている方は、外出時の支払いに努めている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	場合によって電話をかけたり、内線の利用をしている。 家族にはがきを出される方もみえる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、外出や行事の写真を飾ったりしている。 テラスに花が植えてあるため、利用者と一緒に水やりをしている。	リビングから居室に通じる広い廊下にはベンチやテーブルが置かれ、利用者それぞれが自由に過ごせる空間がある。テラスには緑のカーテンが2階まで伸び、強い日差しを柔らかくして、居心地良く過ごせる工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にソファーや丸テーブルを配置しており、憩いの場を設けている。 また、リビングの席も決まっており、個々の居場所を意識している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで利用していた家具や身の周りのものを持ってきていただき、居心地のよい暮らしの工夫に努めている。 本人や家族と相談して提供している。	タンスやソファー、テレビや写真など馴染みのものが持ち込まれ、今までの暮らしを大切に、居心地良く暮せる配慮がある。備え付けの家具や鏡もあるが、利用者や家族と相談しながら、身体状況に合わせた工夫がしてある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室入り口に、本人の写真や名前が書いている看板。トイレや洗面所にもわかりやすいよう目印をつけたり工夫している。		